



第1回情報発信部会（平成30年6月28日開催）

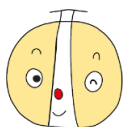
資料2

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
1	村木委員	<p>【観光マップ等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西成観光マップの配布場所は、区内だけでなく、例えば梅田、難波、天王寺など他の地域にも積極的に設置するということも検討いただきたい。 ・海外からのインバウンドが増え、観光マップを持って歩いている方がたくさんいるということだが、関西に多い中国、韓国、ベトナム、フィリピンなどアジア系の方にわかりやすいような仕掛けづくりは、今後どのように取り組まれていくのか。 ・外国人をサポートする、ホテルでいうコンシェルジュみたいな、外国人が安心して西成を歩いたり、どこが穴場なのかがわかるような仕掛けづくりなど、何か民間のアイデアで使えるようなものはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光マップについては、大阪ビクターズインフォメーションセンター（梅田・難波）、大阪市サービスカウンター（梅田・難波・天王寺）などにも配架している。今後も、多くの人の手に渡るよう取り組んでいきたい。 ・観光マップの多国語版については、今後、多くの外国人観光客への対応も念頭に置きながら、進めてまいりたい。 ・外国人の方々がSNSで発信する情報は、非常に大きな情報発信源になるので、区内の宿泊業界の関係者などのご意見などをお伺いしながら、情報を発信していきたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 30年度に対応 □ 31年度に対応（予定） ■ 引き続き検討 □ 対応困難または不可 □ その他
2	中松委員	<p>【区の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、外国人の目線に立ったイベントなどを企画し、そのお知らせをゲストハウスに置いて、外国人を集める。その時に、高齢者と何か交流できること、例えば日本の昔のものや古い西成のことを知っておられる方と何かイベントをすると、それが楽しければSNSにも載って広がっていくと思う。 ・区内への情報発信と区外への情報発信を、もっと有機的に結びつけていくような手だてや、その情報発信の仕方の方向性を整理することが必要だと思う。 	<p>外国人観光客が区内を周遊できるような取組みはまだ不十分である。西成特区構想の中でも、様々な議論をしているところであるが、西成区に来られた方が、区内にこんな素晴らしいところがあり、そこに行けば西成区の人とつながったり触れ合ったりできるような場面を作ることも含めて、ひとつひとつ、別々にということではなく結びつけて、取り組んでまいりたい。</p> <p>また、情報発信の際には、ゲストハウス等のお力もお借りしながら、イベント等の周知にも積極的に努めてまいりたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 30年度に対応 □ 31年度に対応（予定） ■ 引き続き検討 □ 対応困難または不可 □ その他

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
3	村木委員	【区の魅力発信】 昨年メディアに、あいりん地域のことがいくつか取り上げられているので、インバウンド、外国人向けのホテルの集積が図られる地域ということで、あいりん地域にはこんないい施設、外国人が安心して訪れる場所があることを、都市景観資源にも1つ入れてはどうかと思う。	外国人の目線に立った情報発信についても意識しながら、今後も様々なご意見や提案を踏まえ、より効果的な手法を用いて、西成区の魅力を広く発信してまいりたい。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
4	長谷川委員	先日、中国人のユーチューバーが、とある商店街を歩いて自分の目線でまちを紹介し、それをスマホで生中継していたそうで、そのライブを中国で視聴している人がたくさんいた。そういう方を招聘して、いっしょに区とコラボで、外国に西成区を紹介するというのもいいかなと思った。有名なユーチューバーならフォロワー数が広がって、もっと若い人にも情報発信ができるかなと、ぜひそういったことも考えていただけたらと思う。		<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
5	井場副議長	【防災マップ】 外国人に、防災の観点から逃げ道などを説明することで、未然に二次災害を防ぐことができると言われているので、防災マップにも英語など国際通用語を入れていただけたらと思う。	防災マップの多言語対応について、平成31年度中に実施できるよう取り組んでまいりたい。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input checked="" type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
6	近藤委員	【区政情報の発信】 区民アンケートで、「区役所からの情報の入手方法がわからない」という回答がおられるが、どのようにしたら入手方法をわかってもらえるかという基本的なところをまず考えていただきたい。また、「区役所から必要な情報が届いていると思う」という回答率が、大阪市平均は約42%、西成区は約36%であるが、西成区の回答率が低いことについて、原因を調べていることなどあれば教えていただきたい。	西成区は、他区に比べて新聞購読世帯が少ないため、広報紙を新聞折り込みで伝えるところが行き届いていないと考えられる。また、届いていても、手にとって見ていただかないと情報も伝わらないので、いかにしてピックアップして記事を読んでいただけるか、引きつける記事を書くかということが重要であるため、そこを特に意識しながら取り組んでいきたい。 また、若い世代の方にも広報紙を届け、区政情報を知ってもらえるよう、SNS等を活用した発信も強化していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
7	上村議長	新聞をとっていないと広報紙がなかなか手元に届かない。多分若い人も新聞をとらなくなる傾向にあって、インターネットから情報をとる方が早いということもあるので、そのあたりの工夫が必要と感じた。		

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
8	井場副議長	<p>【高齢者の生きがいづくり】</p> <p>情報発信は目的達成の手段であり、多数の人に目的を持って伝えるというのが前提にあると思う。西成区は高齢化率が高いが、悪いことではなく、長寿社会の人生設計と捉えていただきたい。65歳以上を高齢者というが、まだ現職で働いている方もたくさんおられるので、年齢によって変わってくると思う。また、生きがいがなくなっている高齢者もおられるので、生きる楽しみを持ってもらえるように情報発信をしていけたらと思う。</p>	<p>西成区には、高齢者の方がたくさんおられるので、区のイベントなど高齢者が関われる場を、広報紙やそれ以外の広報手段も検討しながら情報発信をしてまいりたい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定）</p> <p>■ 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> 対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
9	藤本委員	<p>【イベント等の情報発信】</p> <p>私どもが行っている区民ハイキングなどのイベントも、広報紙に載せていただいているが、年々参加者が減っており、情報発信というのは難しいと感じている。我々も、区の中でいろいろな行事をしておられる各委員の皆さんと連携しながら、何か区にお役に立つようなことをもっとできないかと考えている。</p>	<p>イベントなどの記事を広報紙に掲載した場合でも、どれだけの方がご覧になるのか、また見たからといってイベントに来るかどうかは別問題であるが、広く呼びかけや、またみんなで参加しようという機運ができてないと難しいところがある。区としても、様々な方々と連携を深めながら、今後も多くの方に参加していただけるようなイベント等の取組みを進めていきたい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定）</p> <p>■ 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> 対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>



第2回情報発信部会（平成30年8月2日開催）

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
10	村木委員	【区の魅力発信】 今後、観光案内のスペシャリストなどを活用していくために、平成29年度の養成講座修了者が、まち歩きのコースやガイドの実践を試してみようということであるが、在留の方や留学生などの外国人にもオブザーバーとして参加してもらい、意見を聴くということも検討をお願いしたい。	外国人旅行者を対象としたガイドツアーについても現在検討中である。在留の方や留学生を含めた外国人にオブザーバーとして参加してもらい、意見を聴くことについても検討してまいりたい。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） ■ 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
11	藤本委員	【区の魅力発信】 平成29年度の観光案内スペシャリスト養成講座は、何人が受講して、30年度に阪南大学と連携した実践を行うのはいつ頃か。11月の区民まつりのときに、参加者を募集をして、観光マップや、観光案内スペシャリストを活用したイベント等ができないかと思う。	平成29年度の観光案内スペシャリスト養成講座の受講者数は50名で、そのうち修了証書を授与したのは7名であった。平成30年度は、8月に昨年度受講者向けの実践講座を3回開催し、10月には5区共催の観光イベントに修了生が定点ガイドとして参加する予定である。いただいたご意見を踏まえ、たくさんの方が集まる区のイベント等と結びつけた企画を検討してまいりたい。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） ■ 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
12	中松委員	【区の魅力発信】 ・外国人観光客を惹きつけるために、大学の留学生や区内の日本語学校に通う外国人の意見を聞いてみてはどうか。 ・難波などいろいろな地域で、外国人を呼び込んで商売をしている人もいるので、そのような方々の協力も得て、外国人を呼び込む方法などについて、アイデアやアドバイスをもらいながら取り組んではどうか。	平成29年度まで、簡易宿所設備改善助成事業として、ゲストハウスの畳をフローリングや洋式に変えるなど、外国人を受け入れる体制をつくるための助成を行った。その事業を進めるにあたっては、簡易宿所のオーナーや組合の方と綿密に意見交換を行ってきた。今後もそのような方々や、外国人を含め、様々な方々の知恵をお借りしながら観光振興の取組みを進めてまいりたい。	<input type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） ■ 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
13	村木委員	新今宮駅周辺などで新しいホテルが建っていきおり、その宿泊客のほとんどは外国人なので、ホテル業者の方が持っている、外国人を集める手法・ノウハウも活用できるのではないかと思う。		

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
14	村木委員	<p>【緑化推進事業】</p> <p>今後の取組みとして、「地域活動に関わってみたいと感じている層へ参加を促す」としているが、高齢者が若い層か、どの年齢を対象とするのかを教えてください。対象を幅広くすると、具体的なことになるとイメージが湧きにくいので、この層に特に重点をおくというように目標を立てた方が事業として進めやすいと思う。</p>	<p>引き続き、様々な機会を活用してボランティア参加を促していきたいと考えているが、現状のボランティア参加者は減少傾向にあり、参加者の拡充は喫緊の課題であることから、活動に比較的参加しやすい層である高齢者層に対して重点的にアピールしていきたい。具体的には高齢者層の参加が見込まれるイベントでのアピールを実施していく。</p>	<p>■ 30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/> 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> 対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
15	井場副議長	<p>【要援護者等の緊急時の対応】</p> <p>歩くのがおぼつかない高齢者の方が非常に多いので、災害時に避難場所までたどり着けるかどうかという問題がある。火事の場合は初期消火をしなければならないという基本的なことはアピールされているが、現実的な部分が置き去りにされているような気がする。</p>	<p>災害時に公的機関でできることは限られており、災害時に高齢者や障がいをお持ちの方等への対応をどうするかは非常に大きな問題であると認識している。区としても、『地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業』により地域へ提供している『西成つながり名簿』等を活用し、日頃からの地域のつながりを強化することにより、災害時においても、助け合いながら高齢者や障がいをお持ちの方が避難できるような形をつくっていききたいと考えている。</p>	<p><input type="checkbox"/> 30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定）</p> <p>■ 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> 対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
16	宮本委員	<p>身体障がい者が緊急災害時に避難する場合、お手伝いに来ていただける方の所在や名前もわからず、誰がいつ来ていただけるのかもわからない。</p>		
17	井場副議長	<p>【西成つながり名簿の管理】</p> <p>今、全て個人情報ということで情報は公開されないが、身体障がい者の方を、ボランティアで助けるにしても名簿を公開しないといけない。区役所も名簿を作成されたら、それをどのように公開して協力を求めていくのか、そういう部分で個人情報が壁になってくるといった問題が出てくると思う。</p>	<p>西成つながり名簿に載っている方は、個人情報地域へ提供することへの同意をいただいている。</p> <p>高齢者や障がいのある方など、支援が必要な方の名簿として、地域ごとに意向をお聞きし、見守り活動を行う団体に、第三者に提供はしないことや、守秘義務を守るという協定書を結んだうえで地域へ提供している。</p> <p>名簿の保管先については、各地域の状況によって異なっている。個人情報をたくさんの方が管理することのリスクと、何かあったときに限られた方しか把握していないという課題もあるが、地域の方々と、それぞれの地域で、一番役に立つような方法を整理しながら考えていきたい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 30年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定）</p> <p>■ 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> 対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
18	井場副議長	【空家等に関する相談窓口】 空家や老朽家屋などの相談について、消防署か区役所か、どこに連絡すればよいかかわからない方がいらっしゃるので、もう少し連絡先をアピールしてほしい。	空家等の相談窓口は、基本的には区役所となっている。ただし、非常に危険な家屋等がある場合などは、区役所ではなく消防署へ連絡していただくこともある。 広報紙10月号において、空家についての特集ページを予定しているところであり、今後も広報を強化してまいりたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
19	上村議長	【地域コミュニティ支援事業】 以前、区内の企業の方に、何か西成区のためにできることがあればやりたいという話をお聴きしたことがある。そういう企業の支援を何か地域活動協議会の活動につなげる方法はないかと感じた。	地域活動協議会の活動は、各地域により状況は異なっているが、企業と連携しながら活動に取り組んでいる地域もある。区としても、29年10月から市民活動支援情報提供窓口を設置しており、その窓口を通じて地域活動への橋渡しをしていく。 また、区内では、地域防災協力事業所の登録制度を行っている。様々な企業等の方に、協力事業所として登録していただき、訓練などに参加していただくことを通じて、地域とのつながりができれば、そこから、地域活動協議会の活動への参加にもつながると考えている。今後も、できるだけ多くの皆さんとつよに地域の活動に取り組んでいけるよう進めていきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 30年度に対応 <input type="checkbox"/> 31年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
20	安部委員	西成産業会館では、毎月理事会を行っているので、皆さんにもその旨をお伝えして、前向きに取り組んでいければ、新しい方向づけることができるのではないかと思う。		